

# みぬま見聞館だより No.61

令和3年9月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

今年は、オオムラサキの羽化が昨年よりかなり遅く6月16日にやっとオスが、6月21日にオス、メスが一頭ずつ羽化しました。全部で最高8頭のチョウが小屋で羽ばたきました。

ハイケボタルもかなり遅く6月8日に初ボタルの姿を見ることができました。

写真はアカハライモリの子供の顔です。一見するとウーパールーパーに間違えてしまいそうなほどよく似ています。



アカハライモリ  
こども  
の子供

## アカハライモリが<sup>たまご</sup>卵から<sup>かえ</sup>孵りました。



① <sup>たまご</sup>卵



② <sup>ふか</sup>孵化してまもなく



③ <sup>て</sup>手が出る



④ <sup>あし</sup>足が出る



⑤ <sup>げんざい</sup>現在

4月5日に、青少年宇宙科学館よりアカハライモリと一緒に藻を頂いてきたその中にいくつか① <sup>たまご</sup>卵がありました。ついにその① <sup>たまご</sup>卵が② <sup>ふか</sup>孵化しました。最初、② <sup>て</sup>手も③ <sup>あし</sup>足もなく③ <sup>て</sup>手が出てきて④ <sup>あし</sup>足が出てきて⑤ <sup>げんざい</sup>現在に至っています。冷凍のアカムシをあげると<sup>すこ</sup>凄いい食欲で、<sup>じゅんちょう</sup>順調に<sup>そだ</sup>育てています。

# きゅうしゅつだいさくせん ヤゴの救出大作戦2021を行いました！



もとぶとしょうがっこう  
本太小学校



ひがしおおなりしょうがっこう  
東大成小学校



よの はちまんしょうがっこう  
与野八幡小学校

ひだり  
左がクロスジギンヤンマ  
みぎ  
右がギンヤンマのヤゴです。  
ぜんたい いろ め ちが  
全体の色と目が違います。



ことし がっこう おこな  
今年も学校のプールからヤゴ(トンボの幼虫)の救出  
を行いました。

プールの水が約2年間満水だったためか沢山のヤゴを  
救出できました。全部で約8,591匹のヤゴを救出  
し、自然庭園・屋上庭園に放しました。

ちゅうがっこう こう おおほら おおみやきた かたやなぎ よの ひがし しょうがっこう  
中学校4校(大原、大宮北、片柳、与野東)、小学校  
22校(木崎、芝川、上木崎、海老沼、大砂土、大砂土  
東、高砂、針ヶ谷、北浦和、本太、芝原、大谷場、美園、  
美園北、向、東宮下、与野八幡、東大成、尾間木、徳力、  
沼影、日進)のご協力を頂きました。\*順不同です

救出したヤゴの中には、ギンヤンマのヤゴが、26校  
中14校で救出されました。

うちわけ  
内訳は、アカネ系4,731匹、ショウジョウトンボ  
323匹、シオカラトンボ3,225匹、コシアキトン  
ボ117匹、ギンヤンマ173匹、イトトンボ22匹で  
した。

ほか  
その他、ヒメガムシ、カゲロウ、アズマヒキガエルのオ  
タマジャクシも見つけました。

ギンヤンマの中には、クロスジギンヤンマのヤゴも紛れ  
ていました。小さいギンヤンマのヤゴを他の職員が、生き  
たアカムシを育てて育てましたが、約2か月以上かかりま  
した。翅の出来たヤゴは1週間しないで羽化しますが、  
未成熟のヤゴは育てるのが大変です。

もとぶとしょうがっこう ひがしおおなりしょうがっこう ねんせい じゅぎょう よの  
本太小学校、東大成小学校では3年生の授業で、与野  
はちまんしょうがっこう どのよう  
八幡小学校では、土曜チャレンジスクールでヤゴの救出  
を行いました。



クロスジギンヤンマ  
のヤゴ



ギンヤンマ  
のヤゴ

## スズムシが卵から孵化しました



昨年、卵で冬越しをしたスズムシが、たくさん孵化しました。あまりにも多かったので、小学校・保育

園・幼稚園へ孵った幼虫を提供しました。現在元気に育っています。

## 保育園で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開催しています。写真は奈良保育園で出前講座を行った時の写真です。他に、ふらっと保育園にも伺いました。岸町保育園は雨で秋に延期になりました。講座の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。



## 幼児政策課の保育者研修が行われました！

6月25日に、幼稚園教諭・保育所保育士、認定こども園保育教諭における様々な課題に対応し、保育の専門性を高めるための実技研修の一つ「幼児の自然に対する興味・関心を育てるための自然体験」が行われました。庭園で生き物に触れたり、オオムラサキの羽化の瞬間を観察したり、ペットボトルを使った『万華鏡作り』を行いました。



幼児政策課の説明

生き物体験

万華鏡作り

# 団体見学がありました

6月15日(火曜日)芝川小学校2年生が『生きものなかよし大作戦』で見聞館を訪れました。新型コロナウイルス感染症対策として館内及び庭園を貸し切りにし、①ストラップ作成、館内で生き物の話、②庭園散策、③水の生き物体験を行いました。6月18日④そらいろ保育園が遠足で訪れました。なお、見学の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。



①ストラップ作成



②庭園散策



③水の生き物体験



④水の生き物体験

## お知らせ

- ・ 9月 1日(水)「いきもの、みつけた!写真展」の写真の募集を開始します。
- ・ 11月21日(日)秋の自然観察・環境学習会が行われます。
- ・ 11月25日(金)リース作りが行われます。

## お詫び

みぬま見聞館だより No.59号表紙のカモのメスの名前の表記に誤りがありました。



写真はマガモのメスではなく、ハシビロガモのメスでした。昨年の冬は、マガモの群れの中にハシビロガモのメスが混じって一緒に行動していたため、識別を誤ってしまいました。誠に申し訳ございません。

## みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 F A X 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。



発行 さいたま市環境局施設部大宮南部浄化センター(みぬま見聞館)

この印刷物は環境に配慮したインクで印刷しています 印刷部数 6,400部 単価 10.4円



ありがとう20周年  
ともに未来へ

さいたま市